

はじめに

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災では、想定を超える巨大な津波により、多くの死者・行方不明者が出るという悲劇を私たちは目の当たりにし、その恐ろしさを十分に認識したところであります。

30 年以内に 70%~80%の確率で発生すると予想されている南海トラフ巨大地震では、約 270km にもおよぶ海岸線を有する本市においても津波による被害想定は甚大なものとなっており、市民の生命・財産を守るためには、これまで以上に徹底した対策を関係機関と協力し進める必要があります。

そのために、市長就任後すぐに防災局を組織し、防災体制を強化したほか、今回、「佐伯市津波防災地域づくり推進協議会」を設置し、学識経験者、住民代表、関係行政機関等と議論を重ね、本市における津波対策の基本方針や施策を定めた「佐伯市津波防災地域づくり推進計画」を策定しました。

私の考える「一人の死者も出さない」という強い思いと合致した「市民の命を最優先」としたハード・ソフトの取組が盛込まれているほか、「自分の命は自分で守る」という意識を 73,000 人の市民の皆様が共有できるよう防災教育や意識啓発を推進する内容となっています。

本計画を指針として、今後も国・県・市、そして市民が一体となって、津波防災地域づくりを推進し、将来に亘って安心して生活することのできる地域を目指し、努力してまいりますので、皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

平成 30 年 3 月



佐伯市長 田中利明